

金曜の会

- 1 期日 2月14日
- 2 参加者 HA、AR、AK、YO、
- 3 内容
 - ・大造じいさんとガン(4場面)解釈 HA

『おうい、ガンの英雄よ。～』のせりふをなぜこのタイミングで言ったのかが話題になりました。残雪が飛び去ろうとしている今の段階で、大造じいさんの呼びかけは聞こえていないかもしれません。ここでは、残雪に聞こえる聞こえないは問題ではなく、『よびかけ』と言いながら大造じいさんの宣言だったのだと思います。ただ、疑問なのは、なぜもっと早く、まだ残雪がいる時に言わなかったのかということです。①そのむねのきずも治り、体力も元のようになった時でもいいし、②ある晴れた春の朝、おりのふたをいっぱいにあける直前でもいいでしょう。ここで、残雪の行動が基準になったと考えてみました。『が、バシッ。快い羽音一番、一直線に空へ飛び上がりました。』の部分は大造じいさんにとって予想外な行動で、これを見て会話文のせりふを言う決心がついたと考えてみました。更に、スモモの花の情景描写と残雪の行動との関係や、会話文との関係も探ってみました。読み返してみると、分かっていなかったことに気づかされました。YO